

(別紙2-8-2)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)就労系障害福祉サービスにおけるICT機器等導入支援事業 実績報告書

自治体名 石川県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン
法人名	社会福祉法人やまびこ
フリガナ	ハバタキ
事業所名	はばたき
提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)	就労継続支援B型
職員数(常勤換算数)【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	7.5人

1. 事業実績

(1)ICT機器等を導入した業務内容(特に該当するもの1つに☑)

- AI機器の活用
 ロボット技術等の活用
 アプリ・ソフトウェアの活用
 その他

(2)導入した主なICT機器内容

ロボット掃除機

(3)ICT機器等を導入したきっかけ

広範囲の施設清掃業務を効率化省力化のために導入した。

(4)ICT機器等を導入した具体的な取組内容

かほく市総合体育館の広大なエントランスホールや通路等の清掃(埃、ゴミの除去)業務。

(5)ICT機器等を導入した際の効果

- ①ロボット掃除機の導入により広範囲を効率良く正確に清掃することができ、省力化に寄与している。
②清掃範囲をロボット掃除機に記憶させることにより、利用者が操作することが容易である。
③設定範囲に障害物(人物)があってもセンサーが感知して、衝突しない様に迂回し本来の経路に自動復帰する。
④清掃開始時に電源を入れる等の簡単な操作で自動運転し、清掃が終了すると始発点に回帰し、自動停止するので、人員が常時見守る必要がない。
⑤ロボット掃除機では対応できない箇所に利用者や職員が集中できるから、効率的に業務を担える。

(6)事業所が抱える課題

2024年4月から「かほく市総合体育館」の清掃業務を受託した。現在はまだ開館から1年たらずで各箇所の目立つ汚れは見られない。今後、経年による汚れが増加しないように丁寧に作業を行う。ただ、業務内容が増加が発生すれば、更にサポーター又は職員に増員の必要がある。しかしながら、人員に余裕が無いのが現状である。